

加東市議会と市民との意見交換会記録（要約）

平成 27 年 3 月 6 日（金） 午後 1 時 30 分 開会

出席者

●全議員 16 名

○東条文化会館コスミックホールの存続を求める市民の会（9 名） * 名簿添付

．．．．意見交換会．．．．

●安田議長（司会進行）開会あいさつ

●議員

自己紹介

○東条文化会館コスミックホールの存続を求める市民の会

自己紹介

●安田議長

まずは、存続を求める市民の会の皆さんの想いをお聞かせいただきたい。

○小原秀司氏

事務局を担当している。先日の請願審査で総務文教常任委員会開催に感謝申し上げる。

昨年 12 月にコスミックホール廃止案が唐突に発表され戸惑っている。

昨年 12 月 11 日に落語家さんと打合せがあった。その方もホールの音響の素晴らしさを言われていた。

特に東条東小校長から、音楽発表会に利用させてほしいと依頼があった。

東条東小、東条中学校の音楽発表会がコスミックホールで実現した。他の学校では体育館での開催なので会場の設営が必要で、また児童の待機場所や空調もない。その点コスミックホールは客席もあり利便性に富んでいる。各学校行事でホールを利用している。

市内には 3 つのホールがある。加東市は対等合併した市であるので 3 つの文化会館を残して欲しい。

○前川公生氏

今から今日出席した会の皆さんから意見を述べてもらう。

○土肥栄子氏

このホールは平成 2 年に設立され、建設時に、人間は本物の音楽を聴いて成長し、また、自分を見つめ直す機会を得ると聞いた。

世界の有名ホールと同タイプのホールが地方にあるのは貴重なことである。また、木管コンクールも 25 回を数え、地域をあげてもてなしてきた。他市ではこうしたコンクールが長く継続することは稀であり「まち興し」のひとつである。

○前川氏

本日、田中進さんは体調不良で入院され欠席しているが、田中さんは、当初から舞台準備から奏者の送迎、手作り看板の設置など木管コンクール開催の手作り感を大事にしてきた。

○田尻敦子氏

木管コンクールは多くのボランティアが「おもてなし」の心で関わってきた。服装、言葉遣い、歩き方等を勉強してきた。緊張する出演者（特に男性）へはハーブなども用意して癒すなど気配りしてきた。また、個人の自宅を開放して泊めていた。その当時出演していた方で今では審査員になった方もいる。

○前川氏

受付ボランティアの方からお話していただく。

○片山宏門氏

私は20年間、木管コンクールの受付ボランティアをしていた。

来られた方の緊張をほぐしてあげた。常に「おもてなし」の心を意識して接した。

会場へ行くのに道に迷った出演者を送って行ったら大変喜ばれ、ホワイエでのレセプションの時に感謝を述べられた。出演者から木管コンクールは暖かいコンクールと言われた。

しかし、20年間でボランティアの人数は減ってきている。

○前川氏

署名活動をされた方からもお話していただく。

○藤原康子氏

私もコスミックホールのボランティアをしている。まさかコスミックホール廃止の話題が出るとはびっくりした。

署名活動をしていると、市内外でもホール廃止に理解できないとの声を聞いた。コスミックホールは地域のシンボルだという方もある。コスミックホールの良さを知っている方なら皆が廃止には絶対反対される。また、「あのホールは残すということで決着がついているはずだ。」との声も聞いた。

演奏者（全国）からも1,000人近い署名もあった。25回の木管コンクールの歴史を重く受け止めて欲しい。権威あるコンクールが開催されるホールだと考える。

2月28日のチャリティーコンサートでは大合唱に感動した。神戸や明石、姫路、西脇などから多くの参加者があった。もはや加東市だけのものではない。市の宝であり廃止することは市の値打ちが下がる。

もっと市民が利用して（ホールの良さを）知ってもらう。市の混声合唱団や加東フィルもコスミックホールを活用して知ってもらうことが大切である。

○前川氏

谷上啓子さんからもお話していただく。

○谷上啓子氏

2月28日のチャリティーコンサートは大盛況でホールは満席だった。木管コンクールの公式ピアノ演奏者の石橋さんの主導で署名を集めコンサートを企画していただいた。

演奏者からは「ピアノが弾きやすいのにどうして廃止するの?」「プロの目からしても素晴らしくホールを廃止することは加東市にとって大きな損失だ。」と存続要望の声があった。

●安田議長

会の皆さんからその想いを聞かせていただいた。議員から意見はあるか。

●井上議員

私もコスミックホールにはよく行く。木管コンクールも予選から見ている。皆さんの想いは

理解できる。ただし、議会人としては市の財政面も考慮しなければならないが、その件で意見をお聞きしたい。

○小原氏

市の財政は「赤字」なのか。市が財政難の件が理解できない。また借地の件については、「市の顧問弁護士に相談し専門職で解決すべきだ。」と私の知り合いの弁護士から聞いた。

●井上議員

市の財政状況は良いほうだと思うが、全体的なバランスも考えて検討すべきと思う。

●桑村議員

昨年に設置した公共施設のあり方検討特別委員会委員長を務めた。

その委員会では、3文化会館については、当面現行体制を維持するが、将来の建て替えに当たっては統廃合を含め検討すべきである。とした。従って今回の廃止案については私も驚いている。今、議会では「公共施設適正化検討特別委員会」を設置しているので十分検討したい。

先ほど、以前にこの件は決着がついていると言われたが、これはどういう意味なのか。

○藤原氏

(署名をお願いした先で)「存続は決定となっている。」と聞いた。

●桑村議員

それは行政側からの情報なのか？

○藤原氏

そうと聞いている。

●桑村議員

木管コンクールはコスミックホールでの開催でないとだめなのか。

○前川氏

私たちはそれがベターと考えている。

●安田議長

皆さんの「想いのなかで」との解釈でよろしいか。

○小原氏

参加者や審査員からも木管コンクールはコスミックホールが良いと聞いている。

●藤尾議員

「公共施設適正化検討特別委員会」の副委員長を務めている。今、方向性を探っている。

委員会の中間報告では、コスミックホールは慎重に検討すべきとしている。

小中一貫教育の問題もある。場所や借地の課題もある。市長は、代替案を示して欲しいと言われている。地域が「今後コスミックホールを活用し、このような形で残す。」と言うような案を示すのがいいと思うが、そのような案はあるか。

○前川氏

小中一貫教育は論外である。東小学校、西小学校の耐用年数からして、つぶす費用とこれから建てる費用を比較しても理解できない。

現中学校の立地場所が絶対安全かと言われると、こちらも不安であり、代替え地を言われると頭が痛い問題である。コスミックホールの観客動員への取り組みは、今後の我々の課題である。

●藤尾議員

コスミックホールの存続は、小中一貫教育とからみ、校舎を別の場所にと考えると、小中一貫校ありきになる。しかし、校舎をコスミックホール跡地以外での候補地を提案しないと、コスミックホールの存続は困難になる。

議会としては小中一貫教育については前向きに捉えている。となると、校舎の場所（コスミックホール以外の代替え地）の提案をしないと対抗できないと思う。

○前川氏

小中一貫教育は国の費用削減の方針に沿ったものだ。小中一貫については、本当に子どものため十分協議がある。

●安田議長

議題がそれている。小中一貫教育は別問題として、今日はコスミックホール話題に絞っていただきたい。

●長谷川(勝)議員

「公共施設適正化検討特別委員会」の委員長を務めている。委員会がまとめた中間報告を読み上げる。

(中間報告を朗読する)

校舎建築を急ぐのは、合併特例債の活用期限が迫っているためである。合併した自治体には特例措置の特別枠がある。この期間を過ぎてしまうと大きな負担増となる。

○藤原氏

雨漏りがひどいと聞く。他施設は改修もある。全て秘密裏に進められた計画であり、最初からコスミックホールをつぶす気で廃止をもくろんだ施策ではないか。

●大畑議員

市は、これまでに市政懇談会や広報「かとう」を通じて公共施設適正化の総論を示してきた。議員は市の公共施設がこのままでいいとは思っていない。今のうちに何とかしなければと思っているのは事実だ。文化会館に限らず、公共施設の統合廃止は免れない。

その基礎理念のうえで考えていきたい。

○烏田成典氏

適正化計画(案)ではバランスは考えてないとある。

3町対等合併であるのに、東条地域が集中的に偏った統廃合になっているのは差別的扱いだと感じる。当時の合併協議会方針でも施設のとらえ方は、市民の生活に配慮し、バランスを保つとある。旧町はこれがあって合併した。

吉川町は三木市に吸収合併したが、三木市は吉川町に配慮した施策を施している。(よかたん等)。旧東条町民の意見を聞いて欲しいと思う。

私は、三木市の職員だった。今、自治体は(サービスを?)競争している。木管コンクールは中々出来ない事業である。

●岸本議員

私も音楽をやっている。皆さんの木管コンクールやコスミックホールに対する熱い思いは伺った。しかし、議員として公平・公正な立場で判断しなければならない。

コスミックホール廃止に賛成の意見もある。他の市民からは「木管コンクールがどうしたの?」という声もある。皆さんと価値観の相違があるのも事実である。

市も財政や費用対効果も基準に考えなければならない。

木管コンクール開催まで、コスミックホールの利用頻度を上げ市へ伝えていく。実績が大切である。皆さんの熱い思いをカタチにしてほしい。

○藤原氏

合併して10年になるが、市長側に合併、一体化の意識がない。東条地域の施設が無くなると皆が集う場所がなくなる。(社や滝野地域との)一体感がまた薄れ、分断されるのではないか。財団がもっとコスミックホールを活用しないとダメだ。今回の計画には、黒幕というか、何か秘密があるというニオイがする。

○土肥氏

旧東条町では動員もしていた。いま文化振興財団が、実質運営しており、我々で満員にしろと言われても財団が(上演やイベントを)決めるので、我々はどうしようもない。

財団が動員すれば我々も協力する。

●藤尾議員

今年はコスミックホールの上演の回数が一番多い。合併して文化面の予算減もある。3つの文化会館で均等に行っており、運営方法に偏った事実はない。

ホールを残すには2つのやり方があると思う。ひとつは市のやり方に乗る方法。もうひとつは、NPO等を立ち上げて受け皿を作って自力で運営する方法である。

市が管理しているから何もできないでは、何も話は前に進まないと思う。

○田尻氏

今年のコスミックホールで開催した演目をやしる国際学習塾のLOCホールでできるか？

LOCホールでは、収容人数に限りがあり演目も限られる。

加東市は「文化よし」の市ではないか。コスミックホールが無くなると立派な演奏が出来なくなる。

○前川氏

適正配置計画(案)では、教育委員会関連施設がほとんどだ。短期間でこの取捨選択をよくできたなと思う。

「教育」は、不当な支配に服してはいけない。政治的にも中立であるべきだ。このような計画を短期で本当に論議できたのか。教育委員会を抜きで検討されたのではないかと思う。

また、コスミックホールの改修予算について、教育委員会は財政部局と本気で折衝したのか疑問を感じる。

●藤尾議員

文化会館3館で17億円と試算されている。改修すれば、国際学習塾7億円、コスミックホール5.6億円、滝野文化会館4.4億円である。もともとはつぶすことを前提に考えていない。

各施設で小規模改修はしてきたが、大規模な改修はどこも実施していない。

全ての会館を改修できないことから、今回の計画となっている。

●安田議長

閉会あいさつ

市民との意見交換会参加者名簿

平成27年3月6日

番号	氏名	備考
1	小原秀司	
2	前川公生	
3	烏田成典	
4	田中進	当日欠席
5	片山宏門	
6	田尻敦子	
7	藤原康子	
8	土肥栄子	
9	谷上啓子	
10	岸本清明	